

資料館だより



特別展キャラクター
ヨリッキー
(埋蔵文化財調査センター蔵の
発掘椀絵柄)

CONTENTS

- 1… TOPICS
- 2… 展示活動報告
- 3… 資料館での雑感／平成27年 8月～10月移管・寄贈資料
- 4… 開催案内／平成27年度入館者数

TOPICS

資料館×埋蔵文化財調査センター特別展 「加賀藩与力 武士のほまれ —金沢大学の発掘展—」を開催

平成27年10月1日(木)～11月11日(水), 資料館展示室で特別展「加賀藩与力 武士のほまれ —金沢大学の発掘展—」を開催しました。

今回の特別展は, 平成9年度に学内共同利用施設として設立され, 今年で創立19年目を迎える金沢大学埋蔵文化財調査センターと資料館が共同で開催しました。

展示はこれまでに同センターが, 角間, 宝町及び鶴間のキャンパスを発掘調査した成果から, 藩政時代の宝町遺跡で出土した資料を中心にを行いました。

宝町遺跡のあった場所はかつて与力町と呼ばれた加賀藩士の町で, 藩主前田家ゆかりの寺院もありました。展示された品々からは, 藩政時代の金沢における武士とその家族たちの日常生活を窺い知ることができました。



見学会で講演する
佐々木花江埋蔵文化財
調査センター准教授



特別展見学会風景

このほか, 鶴間キャンパスで発掘された金沢監獄資料, 角間キャンパスで発掘された縄文中期の資料や古代の山間寺院関係資料も展示しました。

今回の特別展では, 学外の方からも展示についてたくさん問合せがあるなど, 期間中1,563人の来館者があり好評のうちに会期を終了しました。



宝町で発掘されたお人形

今回展示された品々は, 資料館ウェブサイトにて公開中の図録「加賀藩与力 武士のほまれ」に解説付きで写真を掲載していますので, こちらもご覧ください。

展示活動報告

資料館
特別展示

東洋史学の泰斗・岡崎文夫とその交友 ―岡崎文夫博士宛書簡展―

会期 平成27年10月1日～11月11日 会場 資料館展示室

岡崎文夫(1888～1950)博士は、富山県出身の東洋史学者で、第四高等学校を卒業後、京都帝国大学に進学し内藤湖南に師事しました。その後、東北帝国大学の助教授、教授を勤め東洋史の研究に大きな業績を残されました。

平成25年に岡崎博士との交友関係を示す書簡約70通が岡崎家から見つかりました。その整理が古畑徹附属図書館長(当時資料館長)に委ねられていましたが、このほどリスト作成が終了し、ご親族のご厚意により本学で書簡の初公開が行われることとなりました。

なお、展示資料は東北大学に寄贈されることになっています。



展示風景

写真展

よみがえる城内キャンパス

会期 平成27年10月27日～11月5日 会場 金沢城公園鶴の丸休憩所



展示準備が整った会場

金沢城公園での城内キャンパス写真展も今年で7回目を迎えました。展示は鶴の丸休憩所を会場に、かつての城内キャンパスを撮影した写真を中心に約20点展示しました。

展示初日は快晴で、北陸新幹線の効果もあつてか大勢の方が訪れていました。



快晴の金沢城公園

美術展

i-ACANTHUS ARS 2015

会期 平成27年11月17日～27日 会場 資料館展示室

美術教育専修の教員、学生、卒業生による展覧会は、平成13年から毎年金沢市民芸術村で開催されていましたが、今年度は資料館展示室を会場として開催されました。展覧会では絵画、彫刻、デザイン、工芸など多岐にわたる作品約30点が展示されました。期間中は土曜・日曜も開館し、美術教育の卒業生の方々も鑑賞に訪れていました。



展示準備をする学生の皆さん

特別展「加賀藩与力 武士のほまれ」アンケートから

- ・『普段何気なく学生生活を送っているキャンパスが遺跡であり、様々な出土品があることに驚いた。』(学生)
- ・『金沢大学の基礎を現代の学生やその他多くの人に伝えるべくして、資料館の展示がなされていることは誇るべきことだと感じました。』(学生)
- ・『土日も開館して頂けるのはうれしい』(卒業生)
- ・『今後も、このような特別展をひんぱんに開催してください。』(市民)
- ・『大変興味深く拝見させていただきました。また日を改めて展示してほしいと思います。』(市民)



モノ資料との出会い

約2年、資料館で資料整理のアルバイトをさせていただきました。その間、様々な「モノ」に出会いました。地理学の先生が残した地図、四高時代の文書類や模型、絵画や掛図など…。毎回違った毛色の資料に向き合うので、そのたびに新しい発見をし、実物を見ることでしか分からない知識を吸収できました。

実際に資料に触れるたびにいつも思うことなのですが、50年前、100年前のものを自分が触れているということに不思議な感動を覚えます。書き込みのたくさんある地図、四高生が製作したガリ版刷りの雑誌の一片、錆の浮いた実験機器の一つ一つに、確かにそれを使っていた「人」がいたのだということを感じます。モノがある以上、使用者がいることは全く当たり前のことなのですが、時代を越えて人が生きた証が今そこにあることに、言い知れない愛着が湧きます。登録されて収蔵されてしまえば、ずっと陽の目をみることのない資料も多いのでしょう。だから、せめて自分が触れているその間だけでも、しっかり資料をみてあげたいと思いつつ整理していました。

資料館では、本当に様々な経験をさせていただきました。ここでの経験はいつか役に立つと信じています。願わくば、私の整理したモノたちが誰かの役に立つことを祈っています。



人間社会学域人文学類4年 須貝杏奈

博物館実習学生企画展に携わって

資料館では昨年に引き続き、博物館実習を履修している学生が企画展を開催しました。展示配置、他館からの資料借用、ポスターやパネルのデザイン、ミュージアムツアーなど、構想から開催に至るまでの作業の全てに携わったことで今まで見えなかった苦労もわかりました。(作業の分担をグループに分けて行ったため、作業量に偏りがなく全員で企画を作り上げた満足感も得られました。一方で、グループ同士の伝達が上手くいかずに情報の共有がしにくかったという側面もありました。)

当初から「学生ならではの斬新な展示をしたい」という意識で取り組み、最終的に「恋愛小説」という大学生に親しみやすい要素も含んだ展示にしました。しかしタイトル案や企画の構想段階では国立大学の資料館の一企画展である縛りと、実現したい企画展の内容とがぶつかる場面も多々あり、そうした兼ね合いの中でいかに理想とする企画展の形に近づけられるのかを考える難しさも学びました。

全員が4年生で卒業論文の提出も控えている時期にも関わらず、妥協せずに時間と労力が許す限りのこだわりと理想を持って企画展に望めたことがとても良かったと思います。



人間社会学域人文学類4年 笠原朋与

平成27年8月～10月
移管・寄贈資料

移管・寄贈いただきました資料は大切に保管し、貴重な資料として活用させていただきます。あらためて感謝申し上げます。

移管

- ・イタリア・サンタクロチェ教会内壁画の水彩模写ほか(15点)
- ・第四高等学校、金沢大学校舎改築図面(29点)

大村雅章教授
人間社会系事務部



教会壁画模写

寄贈

- ・巨流河／齊邦媛著(図書2冊)
- ・第四高等学校、金沢の絵葉書ほか(46点)

羅 佳郁氏
入口美喜代氏



四高絵葉書等

開催案内

博物館実習学生企画

企画展 破かれた恋愛小説 —『寒潮』に翻弄された四高生—

会期 平成27年12月9日～平成28年2月10日 会場 資料館展示室

平成27年度後期の企画展は、博物館実習を受講している学類4年生が作りあげました。学芸員資格の取得に向けて、講義や館園実習などを経験してきた学生たちが、テーマ設定や展示内容を一から構想しました。



展示資料を作成する実習生

展示会のタイトルにもなっている『寒潮』とは1908(明治41)年に大阪毎日新聞で連載されていた小説で、四高生と女学生の恋愛を描いた作品です。この時期、校風改革運動

のあった四高では学生たちが小説の内容を問題視し、新聞社にかけあい、連載を中止させる騒動にまで発展しました。これは後に「寒潮事件」と呼ばれるようになります。

現代の学生から見た明治の学生の恋愛事情がさまざまな仕掛けでご覧いただける企画になっています。ぜひご来館ください。(展示実習の様子は3p「資料館での雑感」にも掲載しています)

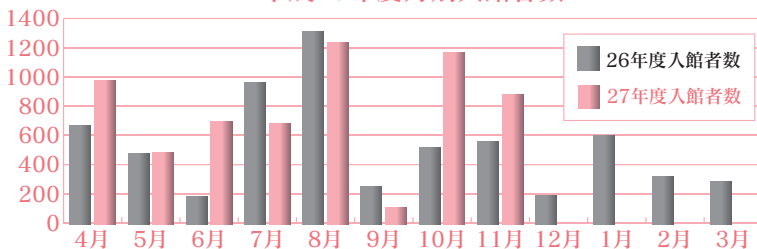


展示準備完了

平成27年度入館者

(平成27年4月～11月)

平成27年度月別入館者数



月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
26年度	677	485	188	968	1,321	262	523	566	200	606	330	294	6,420
27年度	984	493	703	689	1,246	119	1,176	886					6,296

お知らせ

ドイツ統一への道 〈パネル展・講演会〉



会期 2月17日～3月2日
会場 資料館展示室

〈講演会〉

日時 2月18日 15:00
会場 中央図書館3階AV室
講師 大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館
インゴ・カールステン総領事

編集後記 先ごろ、「金沢大学附属図書館・資料館友の会」が結成され、11月7日に「友の会」主催の資料館特別展見学会がありました。ステークホルダーの皆様は元より、市民の皆様の利用が増えることを期待しています。(村田勝俊)

金沢大学資料館だより
第49号 平成28年1月22日発行



〔発行/編集〕金沢大学資料館

〒920-1192 金沢市角間町
TEL 076-264-5215 FAX 076-234-4050
Mail museum@adm.kanazawa-u.ac.jp
<http://museum.kanazawa-u.ac.jp>